

いまこそテロ国家北朝鮮に全面制裁を! モノ、カネ、ヒトの流れを止めよ!

平成21年5月6日(水) 連休最終日
午後2時～5時 日比谷公会堂

すべての拉致被害者をすぐに返せ!

北朝鮮の金正日政権は、8月の日朝協議で拉致被害者の調査をやり直し昨年秋までに回答すると約束しながら、9月初めにそれを一方的に破棄するという不誠実な態度を取り続けています。しかも、「通信衛星」と称する弾道ミサイルで、周辺諸国に脅しをかけました。

拉致という国家テロにカネや食糧等の対価を与える必要はなく、全面制裁を発動した上で、全員返すなら制裁を解除するのが順当な対応です。今こそ、「モノ、カネ、ヒトの流れを全面的に止める全面制裁」の発動により、北朝鮮と米韓中など関係国に対し「いくら時間をかけても、また脅しをかけても、全員救出という点において譲歩しない」という我が国の強い意志を伝えるべきだと考えます。

4月13日の制裁延長手続き期限の際、従来の制裁継続とともに、現行法規上すぐにできる全面制裁の発動を政府に強く求めます。また、それ以前に弾道ミサイルを発射した場合は、直ちに全面制裁を発動するとともに、制裁の理由として拉致問題を明記するように求めます。

めぐみさんたち拉致被害者は生きています。約100人とも想定される日本人拉致被害者、世界12か国以上の拉致被害者は、自由を奪われながら、今も救出の日を待っています。皆様のご支援、ご参加を心よりお願いいたします。

拉致被害者の早期救出を求める国民大集会

と き 平成21年5月6日(水) 午後2時から5時まで

開 場 午後1時(先着順)

と ころ 日比谷公会堂(100-0012千代田区日比谷公園1-3 03-3591-6388)

地下鉄霞が関駅B2・C4出口、内幸町駅A7出口、日比谷駅徒歩3分

司 会 櫻井よしこ・ジャーナリスト

訴 え 家族会会員・救う会役員・拉致議連役員・政府関係者・海外拉致被害者家族等

参加費 無料(会場カンパ歓迎)



今も北朝鮮への中古自転車・家電等の輸出が続いている(鳥取県・境港)

北朝鮮の国家犯罪に全面制裁の発動を！

拉致はテロだ！拉致を指令したのは金正日 拉致被害者に工作員の現地化教育を命令

平成21年3月11日、拉致被害者田口八重子さんの兄・飯塚繁雄さんと息子・飯塚耕一郎さんは、北朝鮮の元工作員金賢姫氏と韓国釜山市で面会しました。これまでできなかった面会が実現したのは10年に及ぶ親北政権が退場し、李明博政権が誕生したことも大きな背景の一つといわれます。

拉致は、金正日が1976年に指令してから集中的に起きています。田口八重子さんは拉致された後、金賢姫氏が日本人になりすまし、工作員として海外でテロを行うための日本語教育、日本人化教育をさせられています。金賢姫氏は、ソウルオリンピックを妨害するために、大韓航空機を爆破することを命じられました。金賢姫氏は日本人のパスポートを持ち、日本人を装い大韓航空機を爆破することには成功しましたが、自殺に失敗して幸いにも生き残り、金正日が指令した国家犯罪を証言する生き証人となりました。しかし、韓国の前政権は、北朝鮮をかばって、金賢姫氏に証言をさせず、政府みずから「事件は韓国政府のでっちあげ」説の検証を行ったほどでした。

しかし、今回の面会と記者会見など、最近の金賢姫氏の勇気ある行動により金氏が北朝鮮の元工作員であること、また爆破を指令したのは金正日であることが、韓国でも再認識されつつあります。そして、拉致被害者は、工作員の現地化（なりすまし）教育をさせられました。拉致はテロです。そして拉致の目的の一つも新たなテロだったのです。

北朝鮮は今、食糧も外貨も少なくなり、困り果てています。北朝鮮は、平成14年9月に拉致を認めましたが、「拉致したのは13人だけ、8人は死亡」という新たなウソをついたため日本人の怒りを買いました。金正日からすれば、自分が拉致を認めて謝ったのに、ウソがばれてカネを取ることに失敗したのです。

家族会・救う会は拉致議連とともに、すべての拉致被害者の救出をめざして、全力で運動を進めてきました。政府も拉致問題対策本部を中心に様々な活動を展開しています。すべての拉致被害者を救出するためには、厳しい対応をとり続けることが重要です。日本政府は核問題を協議する6者協議でも、「拉致問題に進展が見られない状況でエネルギー支援に参加しない」と厳しい対応をしています。私たちは、「拉致も核もミサイルも」解決することを求めます。

すべての拉致被害者を返さない限り、制裁を解除せず、国交正常化もしないという姿勢を貫くことが、遠いようでも解決の早道と信じています。被害者家族は、辛い日々が続いている中、今も運動の先頭に立っています。

不誠実な態度を取り続けている北朝鮮に、わが国と国民の毅然とした意思と強い怒りを伝えるために、そして米國を初め世界に向けて、わが国の真意を正しく伝えるために、私たちは、政府が「更なる対応措置」として、「拉致」を理由に、追加制裁の発動に踏み切ることを強く要請します。

政府を動かす大きな力は日本国民の世論です。政府が毅然とした対応を続けるよう、国民の皆様の叱咤激励をお願いいたします。

※麻生首相に追加制裁の発動を求める、はがき・メールを！

ハガキ＝〒100-8968 千代田区永田町2-3-1 内閣総理大臣 麻生太郎殿

メール＝首相官邸のホームページ＝<http://www.kantei.go.jp/>の右下の「ご意見募集」利用



飯塚繁雄さん、耕一郎さんと金元工作員
＝3月11日、釜山 提供＝産経新聞社

主 催

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 飯塚 繁雄）
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 藤野 義昭）
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（会長 平沼 赳夫）

事務局

救う会 〒112-0013東京都文京区音羽1-17-11-905
電話03-3946-5780 F A X 03-3946-5784 担当＝平田 隆太郎
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

募金先

郵便振替口座00100-4-14701「救う会」
みずほ銀行池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒヲリウカウ）